

鯖江市のSDGsを知ろう！ さばえSDGs推進センター職員による特別講義

～2年普通科 総合的な探究の時間～

5月6日(金)、これからの探究活動に向けて普通科2年生を対象に、さばえSDGs推進センターの職員による特別講義を実施しました。今回は所長の関本光浩氏と、地域おこし協力隊の川口サマンサ氏にお越しいただき、SDGsと鯖江市の取組みについて、SDGsの活動に直接取り組んでいる立場から、分かりやすく指導していただきました。

SDGsってどんなこと？

すべての企業、すべての人が取り組むべきもので、17の目標に向けて経済、社会、環境の3つをバランスよく発展させようというものです。日本には貧困や飢餓などは関係ないと思われがちですが、食料の多くを輸入に頼っているため、気候変動やコロナ、戦争などで農作物が減少したり、安定しないなどの影響を受け、決して他人ごとではありません。また環境問題については、日本では大量の二酸化炭素を発生し、今すぐに取り組まなければならない課題になっています。これらの問題を解決していくために大切なことは、私たち一人一人がそれらの課題を身近に感じて、それぞれが行動に移すことです。これからの探究活動では個人で取り組むことができると、自分たちにできることを調べていって、自ら行動してほしいと説明していただきました。

まず関本所長より、SDGsの目的や現状について説明をしていただきました。SDGsはすべての国、



続いて鯖江市のSDGsの取組みを説明していただきました。鯖江市は眼鏡産業が盛んで、中小企業が多く、昔から女性が社会参画をしていました。鯖江市は市民主役のまちですが、さまざまな要因によりまちづくりに参画するのは男性が多く、女性にとっても参加しやすい環境を作るべく、ジェンダー平等を中心に様々な取組みを行っていると教えていただきました。

ジェンダー平等こそが輝く未来への鍵

次に、川口サマンサ氏より、ジェンダー平等について詳しく



説明していただきました。ジェンダー平等はすべての目標に関係しており、ジェンダー平等が浸透すればするほど、皆にとって働きやすい・生きやすい社会が実現します。女性の社会進出によって様々な目線で問題をとらえることができ、様々な活動ができるようになります。鯖江市は、SDGs未来都市計画で「ジェンダー平等こそが輝く未来への鍵」と掲げています。鯖江のメガネのロゴマークはそれを象徴し、世界を見て、地元で活動する、その中心になるのはジェンダー平等のオレンジ色であると教えてくれました。



最後に、私たちがSDGsについてできることを、次のように説明していただきました。

- 「意識をする」 意識することで、今まで見えてこなかった課題が見えてくる。現状を知ることができる。
- 「理解しようとする」 現状を受け止め、それを理解しようとする。理解できないかもしれないけど、認める。
- 「行動に移す」 現状を理解したうえで、それに合わせて実際に行動をする。
- 「新しい日常になる」 行動を続けることで、それが日常となり、当たり前の行動となる。

しかし、これで終わりではなく、SDGsがすべて達成したというわけではありません。さらに意識を高めて、ずっと繰り返して意識をして、自分から「これは違う」と疑問に思ったことがあれば、自分から変えていく。「意識を持つ」ことが大切ですと教えていただきました。